

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	32	丸子修学館 高等学校	全 課程	総合学 科
------	----	------------	------	-------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
<p>1 総合学科の特性を生かし、自らの将来設計に意欲的に取り組み、自己の能力を高めることのできる人材を育成する。</p> <p>2 豊かな感性と深い知性をもち、社会の発展に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>1 総合学科での学びを通して、自律的な行動力と主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。</p> <p>2 他教科との連携授業、地域貢献活動への参加・協力など、他者と協働する活動を通して、集団の一員として、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。</p> <p>3 自他の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。</p> <p>4 規範意識を高め、社会や学校のルールを守り、充実した高校生活を過ごせるよう指導する。</p> <p>5 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。</p>
重点目標	
<p>1 学校生活全般をキャリア教育の場として位置づけ、生徒の主体的な取り組みを支援する。</p> <p>2 新課程に準拠した学習内容と学習評価等を精査・確定しシラバスにまとめる。</p> <p>3 規範意識を高め、互いを尊重し合う、学びの場づくりを推進する。</p> <p>4 災害・感染症等への危機意識を高め、安心・安全が担保される学校運営を行う。</p> <p>5 本校の教育目標を地域や保護者と共有し、協働して学校づくりを推進する。</p>	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科
1年	総合学科での諸活動を通して、人間関係を作り、仲間と協力してクラス・クラブ・生徒会活動に参加し友人と連帯していく中で、いじめや差別を許さない仲間作りを目指す。特別活動や部活動に積極的に参加し、基礎的な生活習慣を身につけると共に、豊かな人間性を育てる。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○産業社会と人間 ○コミュニケーションキャンプ ○インターンシップ ○上級学校見学 ○講座選択 ○講座選択説明	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○S S T ○平和・人権学習（いじめについて） ○面談週間（4月・12月） ○主権者教育	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動 ○強歩大会 ○文化祭 ○クラスマッチ ○交通安全教室・講話 ○青少年ネットワーク ○お身拭い	国語 地理歴史 公民 数学 理科 保健体育 芸術 外国語 家庭 情報 農業 商業 工業 福祉 総合的な探究の時間
2年	総合学科での諸活動を通して、主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方にについての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○探究基礎 ○就業体験（就職希望者） ○修学旅行 ○講座選択 ○発表会	校内における諸活動の中でもある自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○平和・人権学習（平和・差別について） ○面談週間（4月・12月） ○主権者教育	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動 ○強歩大会 ○文化祭 ○クラスマッチ ○交通安全教室・講話 ○青少年ネットワーク ○生徒会の運営 ○お身拭い	言葉による見方・考え方を働きかせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。 社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。 持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。 数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。 自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。 体育や保健の見方・考え方を働きかせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にする態度を養う。 芸術各科目における見方・考え方を働きかせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもつて自分の生き方を考える態度を育成する。
3年	総合学科での諸活動および平和や基本的人権についての学びの中で、社会の諸課題に対して主体的に解決していくこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○総合研究 ○キャリア・レスン ○事業所見学会 ○上級学校見学 ○総合研究発表会	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的に・意欲的に解決していく態度を養う。 ○平和・人権学習（平和について） ○面談週間（4月・12月） ○ビジネスマナー講座 ○主権者教育	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○強歩大会 ○生徒会諸行事の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動 ○部活動 ○交通安全教室・講話 ○青少年ネットワーク ○お身拭い	情報 農業 商業 工業 福祉 総合的な探究の時間

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。 感染者、濃厚接触者とその家族、感染症対策の医療従事者等やその家族に対する偏見や差別につながるような行為は、断じて許されないものであり、このような差別や偏見が生じないようにすること。
-----------	--